

新聞スクラップの活用 ～汎用性のある発展を目指して～

宮崎県立宮崎大宮高等学校 教諭 五反田 聡

1 はじめに

本校は、1889年・明治22年に尋常中学校として開校し、旧制宮崎中学校や旧制第一宮崎高等女学校などを経て戦後の学制改革により宮崎大宮高等学校となり、創立134年目を迎える伝統校である。旧制中学の60年間、新制高校の60年間でそれぞれの節目とし、現在は、宮崎大宮の第三の時代と考え、新たな歴史を刻むべく、日々の活動に取り組んでいる。

本校におけるNIE活動は国語科や総合的な探究の時間などの教科指導の他、新聞スクラップなどはホームルーム単位で行われている。

2 本年度の取り組み

2年前から新聞スクラップをホームルーム独自の取り組みとして実施してきた。新聞スクラップを行う目的は大きく3つある。「新聞に触れる習慣を身につけさせる」、「新聞を通じて興味・関心の幅を広げさせる」、「進路決定・大学入試に向けて準備させる」であるが、かねてから、ホームルーム単位の活動であっても、新聞スクラップ(情報の収集)で終わらせることなく、収集した情報を整理・統合させ、自ら課題を発見し、解決に取り組もうとする態度の醸成につなげられないかと思案していた。

今年度、第三学年というまとめの時期であることと、全国大会での授業公開という機会をいただいたこともあり多くの方の協力をいただきながら実践という形にした次第である。

① 新聞スクラップを行う

(1) 担任するクラスを対象に、新聞スクラップをさせる。

→生徒の負担軽減を考え、毎週1回の取り組みとした。

→原則、生徒の興味・関心に委ねる(芸能、スポーツ欄は除外した)。

(2) 記事のジャンル、選定理由、記事から得た気づき等について書かせる。

(3) 取り組んだ翌週の月曜日に提出させる。

▲スクラップ用台紙

② 記事の内容を整理し、記事プレゼンに向けた原稿作成を行う

これまでにストックしてきた記事の中から最も興味があるもの1つを選択し、1分間プレゼンテーションに向けた準備をさせる。構想シートの項目は以下の通り。

- ① 現状
- ② 問題点（現状を引き起こしている要因等）
- ③ 自分が望む“ミライ（10年後）”
→現状がどのように変化していて欲しいか
- ④ 解決策等の提案
→上記の③を実現するための取り組み等

The image shows a concept sheet for an article presentation. It is divided into four quadrants with the following instructions:

- ①現状 (Current Situation):** 記事中にある現状に関する記載をまとめる。もし、記載がない場合は、自分で調べよ。
- ②問題点 (Problems):** 記事中にある問題点に関する記載をまとめる。もし、記載がない場合は、自分で調べよ。
- ③自分が望む“ミライ” (Future I Want):** 現状・問題点（構想シート①②）を受けて、10年後どのように改善または発展しているか考える。
- ④解決策等の提案 (Proposals for Solutions):** 自分が望む“ミライ”（構想シート③）の実現に向けて、**自分らしい**解決策をまとめる。解決策は「自分」が「自分×ミライ」（その問題に自分がどのように関わるか）という視点でまとめる。案のために大学で何を学ぶか、大学で学ぼうとしていることがどのように活かされると考えるかも書けると良い。

▲記事プレゼン構想シート

③ 記事プレゼンを行い、「望ましい“ミライ”」を考え（課題の設定）、社会等への関わり方について考察しまとめる（課題へのアプローチ）

- (1) 3～4人のグループを作り、②で準備したプレゼンテーションを行う。
- (2) 代表1名を互選し、望ましいミライの実現に向けた解決策等について考える。

The image shows a worksheet for group discussion. It has a header 'グループ協議' (Group Discussion) and a main area with a large arrow pointing from left to right, indicating a flow or process. Below the arrow, there are labels for '現状' (Current Situation) and '望ましいミライ' (Desirable Future). At the bottom, there is a section for '望ましいミライの実現に向けて自分ができること' (What I can do to realize my desirable future).

グループ協議用ワークシート▶

3 成果等

<成果>

- ・進路希望が明確な生徒は、その分野について多くの情報を得ることができた。
- ・記事のジャンル分けをさせることで、自己の興味・関心がどのような事柄に向けられるのか認識させることができた。
- ・記事を再構成させることで文章読解のポイントを示すことができた。
- ・プレゼンテーションに向け不足する情報を調べる過程で知識の深化を図ることができた。

<課題>

- ・評価方法が未確立である
→確立することで、教科（授業）での活用が可能になると考える